

2026年2月3日

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループ
株 式 会 社 三 菱 U F J 銀 行
三 菱 U F J 信 託 銀 行 株 式 会 社

「株式会社アルテミスベンチャーズ」の事業開始について

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループ（代表執行役社長 ^{かめざわ ひろのり} 亀澤 宏規、以下 MUFG）、株式会社三菱 UFJ 銀行（取締役頭取執行役員 ^{はんざわ じゅんいち} 半沢 淳一、以下 三菱 UFJ 銀行）および三菱 UFJ 信託銀行株式会社（取締役社長 ^{くぼた ひろし} 窪田 博、以下 三菱 UFJ 信託銀行）が 2025 年 10 月 1 日付で発表しました「日本のグロース企業を投資対象とするエクイティ・ファンド設立について」の通り、三菱 UFJ 銀行は、日本のミッド・レイターステージのスタートアップ（以下 グロース企業）を主な投資対象とするエクイティ・ファンド（以下 本ファンド）の無限責任組合員となる、「株式会社アルテミスベンチャーズ（以下 当社又はアルテミスベンチャーズ）」を設立しました。また、日本の上場・未上場企業への投資において豊富な経験を有する Archibald Ciganer 氏を Managing Partner として招聘し、本日より当社の事業を開始しました。

日本のスタートアップの年間資金調達額は、現在 8,000 億円に達し、過去 10 年間で約 10 倍に増加しました。足元では、調達手段の多様化や海外進出の機会を求めるスタートアップに対し、海外投資家が資金供給を拡大させています。また、外国人創業者が日本に移住しビジネスを展開するなど、スタートアップエコシステムのグローバル化が進み、その成長は加速しています。

一方で、東証グロース市場の上場維持基準厳格化を受けて、スタートアップは未上場の期間が長くなり、成長のためにより多くのプライベート資本が必要になると予想されています。エグジット手法も多様化しており、新規上場は減少し、M&A やセカンダリー取引が増加しています。

このため、日本とグローバル市場の両方に精通し、あらゆるエグジット手法に長け、上場後も含めて投資先企業の長期的なパートナーとなり得るベンチャーキャピタルが求められています。

このような中、三菱 UFJ 銀行は、本ファンドを運営する当社を設立し、本日より事業を開始しました。海外機関投資家として、日本の上場・未上場企業に対する 15 年以上の豊富な投資およびエグジット経験を有する Archibald Ciganer 氏が Managing Partner に就任し、当社をリードします。日本のグロース企業を主な投資対象として、クロスオーバーやダイレクトセカンダリーといった取引にも取り組みます。

また、三菱 UFJ 銀行および三菱 UFJ 信託銀行の市場部門からの LP 出資により、2026 年 4 月に初号ファンドとなるアルテミス 1 号投資事業有限責任組合（仮称）が設立される予定です。国内外の投資家のお客さまからも LP 出資をいただくことを検討しており、総額 500 億円規模のファンド組成をめざします。

アルテミスベンチャーズと共に、MUFG は、日本のグロース企業と国内外の投資家をつなぎ、グループ総合力を活用した長期にわたる投資先のバリューアップを通じて、投資先や市場の成長をはぐくみ、魅力的なリターンを投資家のお客さまにとどけられるよう努めてまいります。

【当社概要】

商号	株式会社アルテミスベンチャーズ (英文名 Artemis Ventures, Ltd.)
設立日（登記日付）	2025 年 10 月 27 日
事業開始日	2026 年 2 月 3 日
所在地	東京都港区赤坂 3 丁目 17-3
役員	代表取締役 中尾 俊雄 取締役兼 Managing Partner Archibald Ciganer 取締役 佐野 直
事業内容	ファンドの運営

【本ファンド概要】

商号	アルテミス 1 号投資事業有限責任組合（仮称）
形態	投資事業有限責任組合
設立予定日	2026 年 4 月（ファイナルクローズは 2026 年度を予定）
ファンド規模	総額 500 億円規模を想定
GP（無限責任組合員）	株式会社アルテミスベンチャーズ
LP（有限責任組合員）	国内外投資家（三菱 UFJ 銀行および三菱 UFJ 信託銀行を含む）
主な対象企業	日本のグロース企業（ミッド・レイターステージのスタートアップ）

【Archibald Ciganer 氏：略歴】

2000 年に BNP パリバ（東京）に入社後、クレジットアナリスト、M&A アドバイザリー業務を経験したのち、2007 年よりティー・ロウ・プライス・ジャパン株式会社においてリサーチ・アナリスト業務に従事。10 年以上にわたり、日本株戦略のファンドマネージャーおよび投資部門の CIO を務め、上場株・未上場株に亘り多数の投資案件をリード。特に 2018 年からは、日本におけるクロスオーバー投資の草分けとなるレイターステージ企業の投資案件に多数関与。また、東京都の「ディープ・エコシステム」の審査員を務めるなど、日本のスタートアップエコシステムの成長を支援してきた経験あり。

以 上